敬愛

けいあい

心暗きときは、すなわち遇うところことごとく禍なり
眼明らかなれば、途に触れて皆宝なり。

性霊集　空海

真言宗の開祖、弘法大師空海の御言葉です。
「性霊集」は弟子の真済が編纂した空海の漢詩文や書簡を集めた書です。

「欲や我がままで心が曇っている時は、
すれ違うすべてが悪いものに感じられる。
心の眼が清らかであれば、見るもの聞くものすべてが、
宝となるでしょう。」

人は、とかく初心を忘れるもの、
年を重ね、経験を積み、どんな大人物になっても
「人としてどう生きるか」を忘れぬように…。
常に原点（仏様の教え）に返り、物事を考えていれば、
間違った道に進むことはないでしょう。

発行／釈迦寺　教学部　千葉県船橋市小室町3394－3　TEL 047(457)5400

戒律のお話（六）

不飲酒戒

萬徳院釈迦寺
住職　竹田　明秀

仏教徒が守らなければならない戒律の中に、「不飲酒戒（ふおんじゅかい）」というのがあります。先の四つの戒「不殺生戒（殺すな）」「不偸盗戒（盗むな）」「不邪淫戒（浮気するな）」「不妄語戒（嘘をつくな）」は解りますが、なぜ五戒の最後に、この「不飲酒戒」が来るのでしょう。字のまま訳すと、「酒を飲むな」ということです。普段真面目で、戒律を守って生きている人でも、お酒を飲んで我を忘れると、先の四つの戒を破ってしまうかもしれないからです。しかし、私たち僧侶も、お酒を「般若湯（はんにゃとう）」と称し、これは薬だと言って頂く事があります。酒は百薬の長とも呼ばれ、少量ならば血流も良くし、健康にも良いです。しかし、自分は大丈夫と思っていても、ついつい度を越して失敗した経験をお持ちの方も多い事でしょう。要は「お酒に飲まれるな」ということです。正常な判断が出来ないような状況になってはいけないという事です。これはなにもお酒に限ったことではありません。覚醒剤や大麻など麻薬類をはじめ、ギャンブルや株で破滅した事例など数えればきりが在りません。犯罪までは行かないまでも、インターネットゲームにはまり、授業に出席せず中退した大学生の話や、家族と会話もせず携帯電話のメールを打つ主婦など、〇〇中毒と呼ばれる事例は近年多様化しています。普段はいけない事だと解っていても、日頃のストレスから開放されたいと、そうしたものに心を奪われてしまうのでしょう。人が一つのことに熱中し、我を忘れることを「夢中になる」といいます。字の如く、「夢の中」なのです。夢から覚めた後には何が残るのでしょう。早く夢から覚めて、本当の自分を取り戻さないと、それこそ、「本当の悪夢」が待ってますよ。

合掌

巡礼記

今回は、千葉県房総方面の4ヶ寺を6月14日～15日の一泊二日にて厳かに巡礼致します。まず、三十番高蔵寺、続いて三十一番笠森寺へ、昼食をとり三十二番清水寺へ参ります。小湊温泉で一泊し、翌15日は結願のお寺、三十三番那古寺へ参ります。

萬徳院釈迦寺の僧侶とスタッフ一同が懇切丁寧にお供致します。各お寺での御住職の法話あり、各地名産のお買い物あり、美味しいお食事と温泉で日々の疲れを癒し、初夏の房総半島を満喫しましょう。そして、何よりも観世音菩薩様とご縁を結び、温かいお慈悲に触れてみませんか。初めての方もお気軽に安心してご参加出来ます。

（30番高蔵寺）

（31番笠森寺）

詳しいお問い合わせは、
萬徳院釈迦寺　教学部まで。
※別紙にて申込用紙も同封しています。
皆様の御参加心よりお待ち申しております。

合掌

花祭

「花祭」とはお釈迦様のお誕生をお祝いする仏教行事です。日本では毎年4月8日に行われます。

お釈迦様のお誕生の時、二大龍王が天から飛来し、香湯（ソーマ、アムリタ）を注いだと言う故事に基づいております。

様々な草花で飾られた花御堂（はなみどう）を作り、その中に灌佛盤（かんぶつばん）を置き、甘茶を満たし、誕生仏の像をその中央に安置し、柄杓で像に甘茶をかけてお祝い致します。

当萬徳院釈迦寺におきましては、午前10時より大本堂に於いて法会を執り行います。

ご参拝の皆様にも灌佛の作法を行って頂いております。

どうぞご参拝賜ります様ご案内申し上げます。

合掌

仏教綜合学院からのお知らせ

お釈迦さまは「大医王」とも呼ばれます。偉大な、お医者さまのようなお方という意味です。仏教は、いまここの自ら自身を正しく見ることを教え、心安らかな理想の人格へと導きます。朝日カルチャーセンター千葉では、仏教綜合学院による「より良く生きるための仏教入門」が開講されています。現在12名の方が学ばれ、4月からまた新しい教室が始まります。

日程は以下の通りの5回です。4月15日、5月6日・20日、6月3日・17日。

お問い合わせは、朝日カルチャーセンター千葉・電話043（227）0131（千葉市中央区中央・三井ガーデンホテル千葉5F）まで。

研修記

「三寅の福」

信貴山（奈良県）のご本尊様は毘沙門天王です。

聖徳太子が信貴山の山頂にて、戦勝祈願をされている時に毘沙門天王が太子のお前に出現されました。そして「戦勝の秘法と六つ目の鏑矢」を授けられ、みごと物部守屋を討伐する事に成功されました。

聖徳太子のお前に毘沙門天王が降臨されたその時が「寅年・寅の日・寅の時」でした。寅が三つ重なるときは「三寅の福」と呼ばれて最も多くの福が授かるといわれています。商売繁盛・家庭円満・病気平癒・入試合格などを祈願、阪神タイガースのファンも多数来られ、寅のイベントには欠かせないものとなっています。

今年は寅年。十二年に一度しかない「三寅の福」を迎える信貴山千手院へ行き、新年行事のお手伝いをしてまいりました。信貴山千手院の護摩堂は命運上人が開山して以来毎朝欠かさず「日護摩」を修していてその年月はなんと千年以上も続いています。

「継続は力なり」

歴代のご住職や僧侶の方々の御精進に心から敬意を申し上げます。

幸道

お寺で学ぼう 参加者募集

小学校1年生から6年生までのお寺体験。

お経を読み、食事を作り、静かに坐る。1泊2泊のお寺での生活体験を通じて「感謝の心」を育てます。夏休みの自由研究の素材探しにいかがですか？

日時 平成22年7月25日(日) 13時集合、26日(月)11時解散

場所 萬徳院釈迦寺 大本堂

詳しくは同封の申込用紙を御覧下さい。

読者の広場 Q&A
それが知りたい 仏事の色々

◎仏事その二

『お線香・お花』

ご本尊さま、ご先祖さまへのお供えものとして、ご命日には故人さまのお好きだったお菓子や季節の果物などをご用意していただくとして、常にはお水、お茶、仏飯、線香・灯明・お花をお供えください。

お線香は真ん中に、向って右側には灯明、お花は左側となります。

お供えものにはそれぞれ深い意味があります。灯明は、心の闇を除き、真実を明らかに照見する仏さまの知恵の光、お花は分け隔てなく、見る者すべてに安らぎを与える仏さまの慈悲の心を意味します。

次いでお線香は、特に「戒香」ということばがあり、戒とは、善きこころがまえ、正しい生活習慣をいいます。お香に火をともせば、芳しい香りが部屋の中にひろがります。同様に、五戒に代表される身口意の善き行いを戒めとし、それを身にそなえた人の香気は風の有無にかかわらず遍く十方に薫り、大きな実りをもたらします。

線香・灯明・お花などのお供物をお供えするときには、智慧・慈悲・戒といった、仏さまのお徳を念じながらお供えください。皆さま方のご先祖さまは、いまご浄土にて、仏さまのご修行をなさっておられます。朝夕のお勤めを通して、仏さまのお徳が少しずつ自らの身につくように願ってください。それが私たちにもできる、仏道修行なのです。

ひとりごと

〝恐ろしいこと〟

ドロボウが屋根から落ちて労災をいいたてる
魚の骨がノドにささって魚屋の責任にする
こんな理屈があたかも正論のように声を立てる
そんな世の中を「濁世（じょくせ）」と云うらしい
困難にぶつかることよりも、辛いことよりも
苦しいことよりも、もっと恐ろしいことは
〝あきらめてしまうこと〟
そこで全てが
終わってしまうから……

坐禅会・写経会のご案内

◎坐禅会（参加費　無料）
～日々の雑踏から離れ
無音の中に安らぎを求める～
★イスを使った「らくらく坐禅」もあります。
●4月20日㈫午前8時より
●5月18日㈫午前8時より
●6月8日㈫午前8時より

◎写経会（納経代　お一人様千円）
～仏様の教えを全身でいただく～
★お気軽にご参加ください。
★写仏のコースもございます。
●4月20日㈫午前9時より
●5月18日㈫午前9時より
●6月8日㈫午前9時より

月例行事のご案内

◎月例法要（ご供養お布施五千円）
故人様、ご先祖様追善のご法要と御導師様の法話がございます。
●4月18日㈰午後2時より大本堂
●5月16日㈰午後2時より大本堂
●6月20日㈰午後2時より大本堂

◆花祭◆（灌佛会）

平成22年4月8日㈭
釈迦寺大本堂にて
午前10時より